

平成 28 年 12 月 9 日

指定管理者の指定について（練馬区立大泉学園町体育館等）

1 内容

地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定に基づき、練馬区立大泉学園町体育館、練馬区立北大泉野球場、練馬区立土支田庭球場および練馬区立大泉さくら運動公園多目的運動場の指定管理者をつぎのとおり指定する。

2 指定管理者

(1) 団体の名称

ミズノグループ

構成団体（代表） 美津濃株式会社
（大阪府大阪府中央区北浜四丁目1番23号）

構成団体 株式会社 日立ビルシステム
（東京都千代田区神田淡路町二丁目101番地）

構成団体 株式会社 プラント
（東京都練馬区大泉学園町七丁目15番3号）

(2) 所在地

東京都千代田区神田小川町三丁目1番地の16

(3) 代表者

美津濃株式会社 代表取締役 水野 明人

3 指定の期間

平成29年4月1日から平成34年3月31日まで（5年間）

4 選定の経過

平成28年4月25日 第1回指定管理者選定小委員会
（業務の範囲、利用料金制の採否、応募資格、評価項目・評価

基準、指定の期間の審議、モニタリングチェックシートに基づく最終総合評価)

- 5月18日 平成28年度第1回指定管理者選定委員会
(業務の範囲、利用料金制の採否、応募資格、評価項目・評価基準、指定の期間の審議結果の報告、モニタリングチェックシートに基づく最終総合評価、現在の指定管理者を次期の指定管理者の選定対象団体として特定)
- 7月12日 第2回指定管理者選定小委員会
(企画提案書作成要項の審議)
- 7月14日 企画提案書作成要項配付・説明(団体を特定して実施)
- 8月18日 企画提案書受付
- 8月22日 経営診断委託
- 9月24日 第3回指定管理者選定小委員会
(プレゼンテーションおよびヒアリングの実施、申請団体の評価、採点)
- 11月10日 平成28年度第2回指定管理者選定委員会
(申請団体の審査、指定管理者候補の決定)

5 選定の理由

選定に当たっては、申請団体の企画提案書、プレゼンテーションの内容、経営診断その他提出書類等を評価した結果、指定管理者として多数の施設の運営を行っており、豊富な運営実績から安定した施設運営が期待できること、運営実績や企画力から多彩な事業展開が期待できること等の理由により、ミズノグループが練馬区立大泉学園町体育館ほか3施設を運営するにふさわしいと判断した。評価項目ごとの評価内容はつぎのとおりである。(審査結果は、別表のとおり)

なお、指定管理者選定委員会および指定管理者選定小委員会では、有識者委員を加えて評価を行った。

(1) 団体の安定性・継続性

代表団体の美津濃株式会社は資金力が特に優れている。構成団体である株式会社日立ビルシステムは、利益を上げる力や借入金の返済能力、経営の安全性が特に優れて

おり、同じく構成団体の株式会社プラントは、資金力や借入金の返済能力が特に優れている。いずれの団体も安定した経営状況にあることから、グループとしてはやや優れた安定性・継続性を有していると判断した。

(2) 団体運営の透明性・公正性

個人情報保護規程、情報公開規程が既に整備されている。

個人情報保護規程に基づき、個人情報保護管理責任者を設置するなど、個人情報保護についての意識が高く、団体運営の透明性・公正性は確保されている。

(3) 団体運営における法令等の遵守状況

就業規則および給与に関する規程が整備されており、それらに基づく運用が行われている。

また、本社リスクマネジメント委員会が設置されており、専門部署による内部監査を実施し、安全性と透明性の確保に努めている。理事会・役員会の構成は適正であり、定期的に開催されている。

(4) 運営実績

練馬区立大泉学園町体育館ほか3施設のほか、目黒区民センター体育館、足立区総合スポーツセンター、文京総合体育館等、全国で多数の指定管理、直営施設を運営している。

(5) 効率的運営・効率化への取組

専門的な知識を多く有する職員を配置することで最小限の人数で最大限の力を発揮できる体制を構築し、効率的な運営を図るとしている。

また、節水装置の取付けやLED化による水道代・電気代の縮減、ボイラー使用の手動管理によるガス代の縮減など経費削減に対して積極的に取り組むとしている。

(6) 受託への熱意・意欲

地域密着型の運営管理により、区民主体のスポーツ空間とスポーツ活動を促進することを基本コンセプトとし、子どもの体力低下問題や高齢化が進むことを念頭に、子ども教室や介護予防プログラムなどの新たなプログラムを導入していく意欲がある。

また、地域のトップアスリートによる教室の開催など、SSCと連携・協調し、実施する事業を工夫しながら、地域のスポーツを活性化しようという熱意がある。

(7) 施設管理の安全性への配慮

危機管理マニュアル、緊急時連絡体制を整備している。24時間365日の集中監視と

緊急対応体制や、1日に複数回施設内を点検する巡回体制を構築しており、施設管理上のリスクの発生や回避に対する継続的な取組がなされている。

万一の場合の本社バックアップ体制も整っており、施設の安全・安心を確保するための取組がなされていると評価できる。

(8) 施設管理運営体制

現在のサービス水準の維持を基本としつつ、これまでに蓄えた利用者の声やニーズから、要望の多いフィットネス教室を増やす、手軽に運動したいという声に応えてTシャツやハーフパンツ、シューズを無料貸出しする新たなサービスを実施するなど、利用者の視点に立った具体的な提案がある。

トレーニング室については、利用者からの声が多いウエイトトレーニング機器を中心に順次最新マシンに更新するとともに、新たにパーソナルトレーニングメニューを作成するサービスの提案がある。

プールの安全性については、これまで瑕疵による重大な事故はなく、監視体制、安全対策が万全であり、区の求める水準を満たしている。

また、これまでの運営実績から、区の各種事業に対する協力が期待できる。

(9) 利用者への対応（ 接遇を含む。 ）

利用者に対する公平・公正なサービスの提供に努め、不当な差別による人権侵害が生じることのないよう、職員に対して定期的に人権研修を実施している。利用者からの苦情に対しては、代表団体である美津濃株式会社が全国の施設で集積した意見や苦情対応が記録されたリスクマネジメントデータベースを活用し、迅速な事態収束を図るとしている。

(10) 職員の育成

利用者に対し「おもてなしの心」を惜しまずに提供できるような人材を育成するために、施設の管理運営に関わる基礎知識から職務や役割に応じた専門知識まで、ホスピタリティ研修やインストラクター研修など、幅広い研修体制を整えている。

(11) 団体の理念・姿勢

代表団体である美津濃株式会社は、より良いスポーツ品とスポーツの振興を通じて社会に貢献することを経営理念としている。効率的な施設運営はもちろんのこと、地域に密着し、地域に根ざした施設運営を実施している点で、区の考え方とも合致している。

(12) 区民雇用の促進・区内事業者の活用

スタッフの雇用については、区民を優先採用する考えを持っている。区民雇用率は現在約61パーセントであるが、新たにスタッフを雇用する際に、地元のハローワークや施設の掲示板等を活用することで、70パーセントの区民雇用を目指すとしている。

業務の再委託先や物品の調達先に関しては、可能な限り区内事業者を活用することを提案しており、区内事業者の積極的な活用が期待できる。

(13) 区内事業者か否か

構成団体に区内事業者が含まれている。

指定管理者選定の審査結果

(大泉学園町体育館、北大泉野球場、土支田庭球場、大泉さくら運動公園多目的運動場)

1 評価項目・評価基準(細目)

評価項目・評価基準	配点	得点
1 団体の安定性・継続性 (1) 利益を上げる力の有無 (2) 事業効率の状況 (3) 資金力の有無 (4) 借入金の返済能力の有無 (5) 経営の安全性	5点	4点
2 団体運営の透明性・公正性 (1) 個人情報保護制度の有無、または、制度化する意思の有無 (2) 情報公開制度の有無、または、制度化する意思の有無	5点	3点
3 団体運営における法令等の遵守状況 (1) 法令等の遵守状況(労働関係法令の遵守を含む。) (2) 理事会・役員会などの構成の適正性 (3) 理事会・役員会などの定期的開催	5点	4点
4 運営実績 (1) 同種の施設を運営するに足る実績の有無 (2) 既に運営している施設の状況 (3) 過去のトラブルへの対応状況	5点	4点
5 効率的運営・効率化への取組 (1) 人員配置の適正性 (2) 多様な雇用形態の職員を配置する工夫の状況 (3) 再委託の範囲の適正性 (4) 事業計画と収支計画の適正性 (5) 経営努力に関する提案内容	10点	6点
6 受託への熱意・意欲 (1) 施設設置目的との整合性 (2) 具体的で独創的な提案の有無	5点	4点
7 施設管理の安全性への配慮 (1) 日常的な点検体制の有無・程度 (2) 危機管理体制の有無・程度 (3) 管理上の不具合や小さな問題の区への報告に関する姿勢	10点	8点
8 施設管理運営体制 (1) 既存の施設と同等以上のサービス水準の確保 (2) 利用者ニーズに対応するための提案内容 (3) 質の高いサービス提供に向けた提案内容 (4) 施設に関する区の計画・方針に対する理解 (5) 練馬区環境方針、災害時の対応等、区の方針・事業に対する協力 (6) プール安全監視・救助等の体制 (7) トレーニング室運営事業の提案内容 (8) 総合型地域スポーツクラブとの連携・協力	15点	12点
9 利用者への対応(接遇を含む。) (1) 苦情解決体制の有無、または、設置の意思の有無 (2) 利用者への公平公正な対応 (3) 利用者等の人権に対する姿勢 (4) 職員の接遇に関する取組	10点	8点
10 職員の育成 (1) 職員に対する研修体制	5点	3点
11 団体の理念・姿勢 (1) 団体の基本理念・経営理念の明文化とその内容 (2) 団体の基本理念・経営理念の職員・利用者への周知	5点	4点
12 区民雇用の促進・区内事業者の活用 (1) 区民雇用の促進(非常勤・臨時職員を含む。) (2) 再委託における区内事業者の活用・物品の区内業者からの調達	15点	9点
13 区内事業者が否か (1) 区内事業者である、または構成員に区内事業者が含まれる	5点	3点
合計	100点	72点